



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会	
開催日時	平成29年12月9日(木) 開会；18時30分・閉会；19時10分	
開催場所	行田市産業文化会館 管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	松井毅、浅見和成、荒木 宏、矢那瀬淳一、清水由香理、山岸朱美、寒河江涼太、新井竜、山岸克也、前田千穂、加藤里美、川島治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	藤村幸子、寺山有紀、近藤慶一	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	在宅医療、在宅介護、在宅看取りの普及啓発及び広報誌発行について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
29年12月21日	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>松井毅</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>浅見和成</p>  </div> </div>	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
松井委員	<p>[開会]</p> <p>資料は、前回の皆さんからの意見を纏めた。裏は、本日欠席の薬剤師会の藤井委員からの意見を載せた。</p> <p>・協議会広報誌の内容について</p> <p>A4、1枚、表・裏のタイプでよいのではないか。  字は大きく、絵などを活用して分かりやすくする。  協議会の紹介（作業部会での決定報告）。  研修報告も載せたほうがよいのではないか。  認知症予防、口腔ケアなどのコラム。  各職種の仕事内容の紹介。  パンフレット発行の案内。  最初は地域包括支援センターの案内について特集する（それ以降は必ず地域包括支援センターの連絡先の欄を入れる）。  病気などのチェックシートをいれて介護予防などにつなげる。  事例の紹介。  介護保険の保険外サービスの紹介。  民生委員が直接渡しに行く事で訪問するきっかけが作れる。</p> <p>・発行スペースについて</p> <p>予算にもよるが、3～4カ月おきでいいのではないか。  最初はアピールするために、2カ月くらいのペースで。  年2回、充実した内容でA3の見開きで表裏で発行。</p> <p>・市の介護保険の冊子の活用について</p> <p>健康教育などの場で配布する。  各自治会の役員会などで、民生委員が説明し配布する。  相談連絡先を大きくわかりやすい部分に明記する。</p>

わかりやすく、見たくなるようなデザインにする。  
主介護者が立ち寄りやすい場所（公共施設、病院や薬局）に設置。  
※資料の説明ができるようにしておく（勉強会が必要？）  
介護保険の流れの部分的なページを別に配れるようにする。  
スーパーへ設置。

**【薬剤師会藤井委員の意見】**

・ 広報誌内容

介護という重い言葉が初めから前面に大きく出ていない方がよい。誰にでも利用できる可能性を広報してほしい（保険利用出来るかどうかは別として）。

少しの支援で自宅での生活が続けられる事から始まって、最終的に、なるべく長く自宅での生活が可能な支援を受け続けられるその道筋を示していく。

その後の順番として施設入所等になると思うが、まずは敷居が低く困っている事の相談にのるという姿勢を示していければよい。

・ 広報の方法

どなたか以前言われたと思うが、まずは不特定多数が目にする回覧板の利用が良いと思う。その後、部数その他許される範囲で、利用が想像される方が集まりそうな場所に置いていただくようお願いできればよい。

大体このくらいの意見で纏まってきている。実際に発行する内容はその時々で必要なものを載せる。発行ペースとしては3～4ヵ月。冊子については今度改正があるので先になると思われる。  
例えば今年度中、2月とかに発行する場合、臨時予算は出るか？

事務局

申し訳ないが出ない。

松井委員	もし出れば早めに発行できると思ったが。
川島委員	市のコピーはどうか？
事務局	簡易印刷機というものがあり、白黒となってしまう。
松井委員	カラー印刷は？
事務局	カラー用紙なら用意できる。施設に配る分を先に発行したいというのであれば、200部から300部程度ならカラー印刷も可能。
松井委員	回覧板はどのくらいの部数が出ているか？ 配れなくても見て回せれば。
事務局	186の自治会で班で分かれ、数が違う。大体3,000から4,000。 自治会から許可をもらう必要がある。
松井委員	許可とは？
事務局	回覧板で回してよいかどうか。
松井委員	白黒では…。 最初に、どの施設にどの位の部数を配ればよいか？ 医科の診療所が30、薬剤師会、薬局が40で、大体100くらいか。 サービス事業所の窓口に配る数はどのくらいか？
事務局	80位。
松井委員	公民館は？

事務局	17。
松井委員	大体200となる。
事務局	一部ずつという訳にはいかないかと。
松井委員	200プラスα、大きい病院は少し多めにして、カラーコピーA4片面50円、両面で100円、計40万となる。最初は回覧板で回してもよいと思う。
川島会長	目的は2つ。活動報告を回覧板で2万世帯の市民の目に触れるようにする。医療機関を利用する人や、必要なサービスを必要な人に知ってもらいたいというなら、専門の事業所や医療機関等に配るのがよい。各施設に10部位置いておけば皆に配れる。1枚ずつ各施設に貼っておくなら数はそんなにいらぬ。
松井委員	活動の広報的なことになるので、持ち帰ってもらえるのが良いが。世帯に配る事ができればよいと思う。2万世帯。
荒木委員	回覧板と施設に掲示するくらいでよいと思う。
前田委員	回覧板はほぼ全員が目にする。事業所に、というと本当に必要な人しか見ない。事業所に行くその時点で介護を必要としている。回覧板の方が色々な世代が見られてよい。
松井委員	確かに。ある意味事業所は省いてもよいと思う。 今の所日常生活は出来ているが、この先の知識の為に病院やスーパー、公民館等のコミュニティーの場に置くのもよい。
山岸委員	たくさんの人の目に触れてもらうには回覧板で回すのがよい。

	<p>緊急を要する人というのは自分から求めて行く。些細な事で悩んでいる方の目に触れればよい。</p>
松井委員	<p>他に置く場所は？</p>
山岸委員	<p>最初は掲示でよいのでは？置いても發揮できない。訪ねられたら差し上げる形式はどうか。</p>
松井委員	<p>大きい介護保険に関わるものは掲示でよいと思うが、活動内容など詳しいものは家に持って帰って見てもらう。</p> <p>回覧板がひとつの方法か。</p>
山岸委員	<p>ゆくゆくは裏表のあるもので詳しく知る必要がある。目にとまる場所という手段で、インパクトのある言葉「悩んでいませんか？」などの言葉を使って掲示をし、受け答えができるような、窓口的な対応ができるとよい。</p>
山岸(克)委員	<p>介護事業所は、まず利用者が来る訳だから、医療機関や薬局がよいと思う。医療機関なら、一緒に来る家族が見る。回覧板は若い世帯は見ないのでは？医療機関に置いて反応をみた方がよい。</p>
松井委員	<p>このようなものを置いた時、どのような方々が持っていられるか？</p>
山岸(克)委員	<p>スペースとしては病院受付に、部数としては20部くらい。</p>
松井委員	<p>様子を見るとなるとそのくらいか。</p>
寒河江委員	<p>回覧板の提案者は私だったと思ったが、自治会長の許可をもらわないといけないとか、すごいハードルが高い。現実的ではないよ</p>

	<p>うな感じがする。介護保険を使っているとなると事業所の方は、大体の家族と本人は理解している。病院を中心とした医療機関がよいのでは。</p>
事務局	<p>回覧の自治会長の了承の関係だが、急に配って下さいというのは、自治会連合会からも避けるよう言われている。事前に話を詰めておけばそんなにハードルは高くない。また、常識的な範囲の頻度であれば難しくない。</p>
松井委員	<p>4ヵ月に1回くらいなら問題ないと。</p>
事務局	<p>一般的な回覧で当然そういうものもある。単発で見てもらっただけでなく、地道な周知として必要な事だという事を担当部署と伝えていく。決して難しいことではない。</p>
松井委員	<p>その時は宜しくお願いします。</p>
矢那瀬委員	<p>広報誌を多数の市民の方に周知するなら回覧板が一番よい。介護について周知するなら医療機関に配置するのが良いだろう。</p>
加藤委員	<p>医療機関、病院、歯科、薬局、公民館とか民生委員。その内容によって各事業所に掲示した方がよいのかどうか。</p> <p>回覧板でもそれぞれ全部の件数だと必要ない所もあるので、見て回すのがよい。</p>
清水委員	<p>医療機関を使っていない人に周知する為にも回覧板がよい。医療機関に置く場合、薬局に勤めているが、大体1日200から250人位の来局がある。健康冊子を入りに置いている。50部位送られてくるが、それがやっとなくなるくらいなので20部くらいあればよい、必要な人には配布できる。</p>

松井委員	うちも数えるくらいを置いておく。
荒木委員	必要性を感じている人は持って行く。市民フォーラムで置いておいても無くならない。
松井委員	置く数は20部位がよいか。
荒井委員	効果を考えると回覧板がよい。 介護事業所に関しては後回しでよい。あまり効果は期待できない。 医療機関に配るのもよい。
浅見委員	回覧板は市民の方に目が届く。医療機関に置くのもよい。 内容は少し薄いですが、仮で冊子を作った。地域包括センターとか連絡先を載せてみた。毎回同じところに載せるのがよい。裏は熱中症に関する事を載せている。病気以外のコラムなど入れてもよいと思う。季節により注意すべきことを載せてもよいし、腰痛等を載せてもよい。
松井委員	この間の研修の記事も入れたらよい。活動を市民の方にもアピールする。今月末にある協議会で、市とすり合わせをする。 内容は皆さんとメールでやり取りする。順番にコラムを書いているかどうかかもしれないが、それぞれの職種の担当としてお願いする。纏めると、最初は医療機関と公民館、回覧板で挟んで回す。そのあたりはまた協議会で詰める。発行は年3から4回でよい。
事務局	【「地域の支え合いフォーラム」の周知】
川島会長	皆さんにお願いしたいことがある。普及啓発というのは皆さんに活動していただいているが、市が責任を持ってやることになっている。市は正確な事は予算等があるので言えない。しかし、本当



松井委員	<p>に必要なことを実現させるために、自治会長さんに頭を下げるのが推進幹である。市民の為に本当にこれが必要と思う事、皆さんの仕事を伝えることや、医療介護連携に必要な事を、最初から萎縮せずに声を大にして言っていただきたい。それを実現する為、私と松井委員と浅見委員で協力して市にお願いし、実現できるようにしたい。皆さん本日は有難う御座いました。</p> <p>浅見委員が作ったものは非常によくできている。</p> <p>協議会の内容を皆さんにメールで情報発信するので意見をお願いしたい。来月は、ある程度固まってきているので、休んでもよいと思うがまたご意見下さい。</p> <p>来年も宜しく願いいたします。お疲れ様でした。</p> <p>[閉会]</p>
------	---